

福津市民の窓口

# 福津市市民課から こんにちは!

●市民課(福間庁舎) ☎43・8127

## 平成22年度国民年金保険料の 免除申請を受け付けます

保険料免除内容の比較					
	全額免除	3/4免除	半額免除	1/4免除	若年者猶予
免除となる期間	7月から翌年6月				
老齢(障害、遺族)基礎年金の受給資格期間	納めた期間と同様に受給資格期間に含まれます				
※老齢基礎年金の受給額	平成22年度の免除期間は1/2が	5/8が	6/8が	7/8が	反映されません
	受給額として計算されます				

※3/4免除、半額免除、1/4免除については、免除されない部分の納付が必要です。

国民年金には経済的な理由などで保険料を納めることが困難な場合、申請することにより認められると、保険料の納付が免除される制度があります。

保険料の免除を受けるためには、毎年申請が必要です。申請は七月から市民課保険年金係(福間庁舎)、市民サービスコーナー(津屋崎庁舎)で受け付けています。本人・配偶者・世帯主それぞれ前年所得の審査がありますが、認められると平成二十二年七月から翌年六月までの保険料が、全額または一部免除されます。

四分の一免除 一万一千三百三十円  
 手続きに必要な物  
 ○年金手帳  
 ○代理の場合は認め印  
 ○平成二十二年一月二日以降に転入した人は、所得証明書  
 ○失業を理由として申請を行う場合は、失業を確定できる書類(雇用保険受給資格者証、雇用保険被保険者離職票)

**若年者納付猶予**  
 一般的な免除申請とは別に、二十歳代の人のみを対象とした納付猶予制度です。一般的な免除申請と違い、世帯主の所得は審査対象外で、本人および配偶者の前年所得のみが審査の対象となります。

## 平成22年度経営方針 健康福祉部

部ごとに部を取り巻く課題・問題点、それを解決するための方針・重点目標など平成22年度の経営方針を紹介します。  
 今月は健康福祉部(福祉課、こども課、高齢者サービス課、いきいき健康課、保健指導室)です。

行政経営へ 第28回

# 変革する

課題 No.	1. 部を取り巻く現状と課題・問題点	2. 課題や問題を解決するための方針・重点目標
①	景気低迷による生活困窮者などへの生活安定の確保。	自立した生活の経済的基盤のセーフティネットおよび就労支援のための相談業務の充実・就労支援などに努める。
②	家庭や地域の介護力が低下し、相互扶助関係が不足している。	社会的弱者を行政、事業者、市民の立場から救済支援するため、社会福祉協議会や郷づくり協議会との連携に努める。
③	さまざまな子育て支援が求められている(多様な保育サービス、在宅支援、子どもの居場所など)。	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの構築、子どもが夢を持ち、健やかに成長できるよう、必要な保護と自立の促進、保育所再編計画の推進、こどもの国基本構想施設編成等に努める。
④	出生後の疾病や事故を原因とする障害者や飽食社会・運動不足から派生する生活習慣病状態にある人が増加している。	生涯を健康で生きがいを持ち安心して暮らせるため、健康ふくつ21計画、食育推進計画の推進に努める。
⑤	高齢化の進行とひとり暮らしや高齢者世帯が増加し、介護予防に加えて、日常生活支援などより身近な分野でのかわりの必要性が増している。	高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるよう、第5期高齢者福祉計画・第4期介護保険事業計画の推進に努める。

## 3. 重点目標を達成するため平成22年度に実施する主な施策・事業

No.	施策・事業名	事業概要	現状値(年度)	目標値(平成22年度末)	課題 No.
1	住宅手当緊急特別措置事業	住宅手当就労支援員を新たに配置し、離職中の住宅手当受給者に対し、再就職先を紹介するなど支援を行う。	対象者数30人うち6人に支給・支援(平成21年度)	対象者数20人	①
2	障害者ふれあい事業	「ほかほか福祉のつどい」で、健常者と障害者を持つ人が一緒に触れ合える場を開設する。	参加者延約250人(平成21年度)	参加者延300人	②
3	認可保育所定数確保事業	保育需要の早期解消を図るため、福間駅東地区に保育所を新設し、認可保育所の定数確保および学童保育所の新設を図る。	用地取得 3,846㎡(平成21年度)	保育所(定員150人)および学童保育所(定員40人)建設	③
4	イベント「歩いて健康(仮称)」事業	元気でいきいき暮らしていくために、楽しく歩くことで生活習慣の改善を目指して、市民参加型のウォーキング大会を開催する(10月予定)。	—	参加者数300人	④
5	ひとり暮らし高齢者等見守り事業	「高齢者等見守り活動団体」のネットワークを構築し、高齢者等支援体制の整備を行う。また、見守り対象者の情報の一元化と適正な管理体制を構築し、個人情報に配慮しながら、個別情報の随時更新体制の構築を目指す。	—	ひとり暮らし、高齢者のみ世帯、日中独居の把握(調査表回収率100%)	② ⑤
6	認知症サポーター育成事業	認知症になっても暮らしなれた地域で、生活を続けることができる仕組みづくりを進めるとともに、すべての高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指して、「啓発・予防・見守り・支援」のステージごとの事業を有機的につないで一体となった事業展開を実施していく。	・キャラバンメイト(106人) ・認知症サポーター(851人) ・サポーターがいるお店認定店(46事業所)(平成21年度)	・認知症サポーター(1,500人) ・サポーターがいるお店認定店(100事業所) ・サポータースキルアップ研修受講率(20%)	② ⑤

もっと身近に

# 介護情報

高齢者サービス課(福間庁舎) ☎43・8190

### がっつん介護講座受講者募集

介護についてのポイントやコツ、心の持ち方などを学んでみませんか。

日ごろの介護や、高齢者への支援で疑問に感じていることなどはありませんか。

がっつん介護講座では介護をする上で必要なことや知っていると得することなどを学べます。「在宅介護をする人向け」の講座と「地域で高齢者支援を希望する人向け」の講座を準備しています。ぜひご参加ください。

### ●I講座(在宅介護者向けの講座)

日時 八月三十日から九月二十七日までの月曜日(四日間) 午後一時～午後四時

内容 お口のケアと食事、移動法、介護サービス、コミュニケーション、心身のほぐし方、介護体験者のお話など



▲昨年の講座の様子

### ●II講座(地域での高齢者支援希望者向けの講座)

日時 十月六日から十月二十七日までの水曜日(四日間) 午前十時～午後零時半

内容 腰痛・膝痛予防体操、緊急時の対処法、低栄養を予防する食生活、介護体験者のお話など

### I・II講座共通

場所 ふくとぴあ  
 受講料 一日三百円  
 募集人員 各講座三十人  
 申し込み方法 市高齢者サービス課に置いている申込用紙に必要事項を記入・押印し、提出してください。  
 期限 八月十日(火)  
 申込み問い合わせ 市高齢者サービス課(福間庁舎) ☎43・8190

本・CD・LD・DVD・ビデオ紹介

# 夢と創造の交差点。

図書館には、新しい本やビデオなどたくさん入ってきています。ご利用ください。 市立図書館 ☎42・8000

### 一般書

#### 「鶴になった老人」

高橋 良治  
角川書店

釧路市丹頂鶴自然公園開設時から、半世紀以上にわたってタンチョウの保護増殖に尽力した名誉園長が、その苦労や思い出、知られざるタンチョウの生態についてつづっています。

そこから学んだ生き方、夫婦のあり方、子育て、看取りの方法とは。

#### 「クレヨン王国 笑える昔ばなし」

福永 令三  
講談社

「童話も小説も、面白おかしくあるべきことば遊びの一分野」という著者が、数ある「笑い」の詰まった古典の小話の中から、とっておき話81編を厳選。シリーズ累計500万部を誇る「クレヨン王国」の根底に流れるものとは。

### A V

#### 「蟹工船」

CD

労働運動に携わり29歳で逮捕、拷問を受け死亡した小林多喜二の、プロレタリア文学運動の頂点といえる作品を、若山弦蔵さんが朗読。

搾取と労働、組織と個人を描いたこの作品は近年の社会状況をうけ、再注目されています。

#### 「ノンストップナルト」

DVD

多くのアーティストをブレイクさせたアニメ「NARUTO-ナルト」の主題歌をオリジナルノンストップミックス。手掛けたのは、世界でプレイするフランスのDJチーム、アニメランジェ。アニメとテクノが融合した、最高にカッコいいCDです。

### 児童書

#### 「もじもじさんのことば劇場 オノマトペ編」

西村敏雄  
偕成社

ぶるぶる、ぶるぶる、すいすい、ずかずか、しっちゃかめっちゃか…。ものものずやすや音を表すための言葉、オノマトペは、言葉自体に意味はないけれど、そのひびきが面白い!!楽しいイラストを使って紹介します。

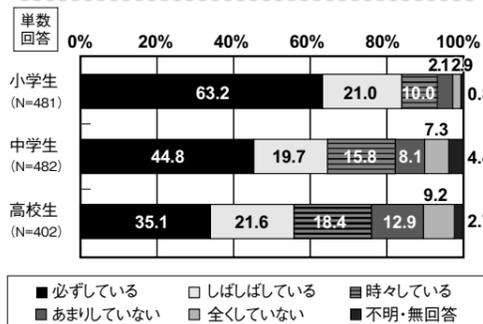
#### 「まるまるまるのほん」

エルヴェ・デュレ  
ポプラ社

ページをタッチパネルに見立て、「まる」を指で触りながら進んでいく、遊んで楽しむ絵本。ビジュアルや表現はとてもデジタル的ですが、ページをめくるといふアナログな行為によって生まれる興奮や驚き、感動を再認識できる、伝統を守る絵本。



### 食事の際のあいさつ



「第二回福津市食育推進条例(仮称)制定審議会が六月二日に開催され、条例案について審議されました。今回は、確認された項目はありませんでしたが、各委員から条例案について活発な意見が出されました。いくつか代表的な意見を紹介します。○法律で個人の食生活に行政が踏み込むことに対して疑問を持っていたが、

現在の食生活が乱れている現状を考えると、条例を制定し、食育を推進しなければならぬ。○市民全体が気軽に食育に取り組みやすいような内容にしないと、条例を制定しても食育は推進できない。○市民が食育に取り組みに当たってのバックアップとなるような内容にしなければならぬ。○大人も子どもも簡単に理解できるように条文を工夫することや条例の周知方法を考えることも必要ではないか。○市民を引き付けるキャッチフレーズを条例に盛り込んでいくのではないかと、今後はこのような意見を踏まえて、具体的な条文の議論を進めていく予定です。今年度は福津市食育推進計画の見直しの年度です。市民の皆さんにアンケートへのご協力をお願いして、現在の計画がどこまで進んできているかを検証し、見直しが必要なのは見直す予定ですので、ご理解とご協力をお願いします。

## みんなで食育

毎月19日は「食育の日」です。

いきいき健康課  
(ふくとびあ)  
☎34・3351

### 第二回食育推進条例(仮称)制定審議会



## みんなおいてよ! アンビシャス広場 からのお知らせ

郷育推進課(津屋崎庁舎)  
☎52・4969

### 「第4回子どものまるごと体験フェスティバル」盛大に開催!

6月12日・13日の2日間「子どものまるごと体験フェスティバル」が市中央公民館で開催され、約1,800人が来場し大いに盛り上がりしました。

今年は、ものづくり体験だけではなく、作ったものを卸し、それを販売するという流通の体験を取り入れ、それぞれの体験コーナーで、子どもたちが楽しみながら、働くことの大切さを学べるようにしました。

まず、子どもたちは1枚100円のアンビ通貨を購入し、それを使って販売コーナーで買い物などをします。通貨がなくなってくると、子どもたちはハローワークコーナーで仕事を紹介してもらい、働く体験をすることで1枚アンビ通貨をもらいます。働いて得た通貨を貯めて、また買い物や遊びを楽しむ子どもたちの表情は、とても生き生きとしていました。働くことを楽しむ子どもたちの様子と、それを見守る大人たちの優しいまなざしが印象的でした。

この2日間、アンビシャス広場のかたがたをはじ

め、たくさんのボランティアの学生が活躍しました。「ぜひ、来年も!」という声が多く寄せられました。

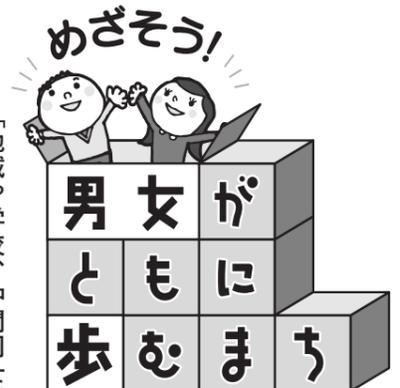


#### 参加協力いただいた皆さん

新宮町・古賀市・福津市のアンビシャス広場、つやざき海辺の自然学校、福津市学校給食調理員、福津市レクリエーション協会、福津市消防団、エコロの森、玄海エコクラブ、おもちゃ病院、紙飛行機の会、日本赤十字九州国際看護大学生、福岡教育大学生、九州産業大学生、中村学園短期大学生、寛成館高校OB、アンビシャス青年リーダー、ほか

六月二十三日、ふくとびあいで第一回会議を開催しました。当日は、その立場や思いもさまざま、三十五歳から七十三歳までの男女十一人が期待と不安を胸に集まりました。市では、男性も女性も意欲に応じ、その個性や能力を地域などでも発揮してもらえよう、「男女がともに歩むまち」を進めています。そこで今回、その思いや能力をさらに効果的に発揮して、少しでも地域の活性化につながればと考へ、「企画の力」に注目しました。多くの人を巻き込んで何かをやるうとした場合、必ずこの「企画の力」が重要になってくるはず。平成二十三年度までの二年間、講

義やワークショップで必要なノウハウを習得し、実際にメンバー自らミニイベントや講座などの企画・運営を行うことで、「企画の力」を向上させていきます。今回参加したメンバーの一人、谷美穂さんに話を聞きました。**Q1** 今回応募したきっかけは？**A1** PTAなどで講演会やバスハイクを企画した際、参加者に喜んでもらうこともうれいですが、時には厳しい意見などがあって、前に出ることが臆病になっていたので。**Q2** 今回、参加して期待することは？**A2** 必要なノウハウを学び、もっと楽しく明るく企画し、みんなで実行できるようにしたいです。



男女共同参画推進室(福岡庁舎) ☎43・8116

「企画の力」  
パワーアップ!



▶少し緊張した空気の中、メンバー同士の顔合わせからスタートしました

消費生活相談室

生活安全課(福岡庁舎) ☎43・8106

「足場を貸して」を口実、屋根工事を勧誘

**【相談事例】** 「隣の家の工事をするので足場を借りたい」と業者が来た。足場を貸すと「お宅の屋根は古い。このままでは瓦を留めている土が流れて家が壊れる」と1時間近くしつこく屋根工事を勧誘された。結果、不安な気持ちから工事合計23万円の書類に署名した。後で、隣は工事の勧誘を断っており、「足場を借りたい」はウソであることが判明した。(70歳代 女性)

**【アドバイス】** 「隣の屋根工事のために足場を借りたい」と、相手の善意を利用して勧誘のきっかけをつくり、「屋根が傷んでいる」などと不安にさせ、契約をさせる手口です。本当に必要な工事かをよく考え、業者に言われるままその場で契約しないようにしましょう。

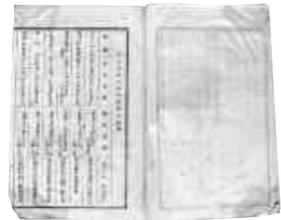
※毎週月・水・金曜日(9:00~12:00)は市役所福岡庁舎で消費生活相談員が相談を受け付けています。  
※福岡県消費生活センター(☎092・632・0999)でも随時相談を受け付けています。お気軽にご利用ください。

発掘現場から

教育総務課文化財係・古墳公園建設係(津屋崎庁舎横) ☎52・4968

塩田で使われた石炭

江戸時代から明治まで続いた勝浦、津屋崎の塩田では塩を煮詰める燃料として石炭を利用していました。先日、史跡見学に参加されたかたから、明治ごろの塩田ではどの炭鉱の石炭を使ったのか、とのお尋ねがありました。歴史資料室収蔵資料の津屋崎製塩株式会社関係とされる明治36年度の書類によれば、買入れた石炭は芦屋方面、西川(鞍手)、御徳(小竹)、唐津(佐賀県多久市、唐津市)、肥前江口(佐賀県みやき町)のものとなっており、年間買入れ量4,136tのうち、唐津と江口が1,034tを占めます。年によって異なりますが塩田から近い筑豊だけでなく、広く石炭を求めていたようです。この輸送事情などを調べれば、石炭も地域の具体的な様子を知る糸口になりそうです。



▲吉原家文書No.996 (資料室所蔵)

福岡 エコにゆつす

うみがめ課(津屋崎庁舎)  
☎52・4952(環境づくり係・清掃対策係)  
☎52・4953(資源リサイクル係)

「環境フォーラム(仮称)」の企画運営委員を募集します

市では、皆さんに環境について考えてもらう場、環境保全活動をしている皆さんの発表・交流の場として、毎年「環境フォーラム」を開催しています。平成18年度からは、実行委員会を立ち上げ、市民主体で内容を企画しています。今年は11月に開催する予定です。

**対象** 市の環境に興味関心のある人(年齢は問いません)  
**テーマ** 地球温暖化防止  
**報酬** あり  
**活動頻度** 月2回程度  
**募集人数** 5人程度(応募多数の場合は、選考します)

環境フォーラムの内容などを一緒に企画しませんか。会場の準備や広報、費用などのサポートは市が行います。皆さんの申し込みをお待ちしています。

**申し込み期限** 8月27日(金)  
**申し込み方法** 住所・氏名・年齢・電話番号と託児の有無を記入し、はがき・FAX・メールなどで申し込んでください。

**第1回会議**  
**日時** 9月7日(火)19:00~20:30  
**場所** カメリアホール  
**託児** あり(一人1回300円)

**申込・問い合わせ** 市うみがめ課(津屋崎庁舎)  
〒811-3304 福岡市津屋崎一丁目7番1号  
☎52・4952 FAX52・4469  
メールumigame@city.fukuoka.jp

「夏休み親と子の犬のしつけ方教室」を開催します

**日時** 8月3日(火)13:30~16:00  
**場所** 宗像総合庁舎1階講堂(宗像市東郷1丁目2-1)  
**定員** 親子15組(約30人)  
要予約、定員になり次第締め切り  
**申込期限** 8月2日(月)  
**受付時間** 8:30~17:00  
土・日曜日、祝日は除きます



**申込・問い合わせ**  
福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所保健衛生課  
☎36・6098 FAX47・0031

犬のしつけ方について、知りたいことや困っていることを講習とモデル犬の実技を通じて対処法などを説明します。この機会に親子で犬のしつけについて考えてみましょう。なお、犬の同伴はできません。